

2021年度

事業計画書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

## 2021年度 事業計画書

### 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大から1年過ぎましたが、いまだ収束の見通しが立たない中、国内経済は一時期よりは回復基調にあります。非製造業特にサービス業等は苦戦が続いています。

プラントメンテナンス業界では、昨年度のメジャー定修は一部計画延期や作業制限があったものの、大きな混乱はなく終えることが出来ました。

ただ、在宅勤務や自粛ムードの中、営業活動が十分にできず、またお客様の設備投資動向も先延ばしとなるなど、今年度以降に影響を及ぼすような傾向がありました。しかし、設備の高経年化は否応なく進んでおり、メンテナンス業に対するニーズは増々増加するものと思われれます。

コロナ禍により我々の業務にも大きな変化がありました。AI・IoT・ドローン・DXといった技術革新により今後のメンテナンス業界は大きく変容していきます。

我が国の産業を支える生産設備に対し、日常メンテナンス・定期修理工事を安全・着実に完工させることが、我々の社会的責任を果たすものと考え取り組んでまいります。

プラントメンテナンス業界にとっては、このようにメンテナンスの社会的重要性は増大している中、各委員会活動では、昨今のテーマである人材確保・働き方改革・スマート保安等の様々な課題・問題について、関係官庁・諸団体とともに取り組み、会員内外に発信していきます。

### 2. 本年度の主な施策取組み

プラントメンテナンス業を取り巻く以下の諸課題に積極的に取り組んでまいります。

- ① 業界全体としての人材確保、長時間労働、人材の育成等の情報を含め会員企業に有益な関連情報を収集、発信します。
- ② 他関連団体・教育機関と情報交流・提供を進めます。
- ③ プラントメンテナンス業および工業会の社会的な認知度アップに取り組みます。
- ④ 業界に関する法規上の問題抽出と会員企業への関連情報の提供に努めます。
- ⑤ プラントメンテナンス業に応用できる最新技術を調査、発掘し、会員企業への情報提供を目指します。

### 3. 事業内容

#### 3-1. 総務委員会

理事会の諮問に応えながら工業会の方向付け等の具体的な仕組みづくりを行うと共に、理事会の付議事項の事前審議を行います。

#### 3-2. 企画推進委員会

総務委員会および各委員会と連携して工業会を取り巻く問題点の抽出、活動内容の検討および調整を行います。2021年度は以下に示す項目を推進します。

1. フランジ締結技能講習推進 WG の活動
2. 人材不足対策（西工大・新居浜高専・六郷工科高校との連携と各種調査等）
3. 「スマート保安官民協議会」他、経済産業省からの参画・検討依頼事項への対応による情報の収集と会員会社への発信

#### 3-3. 調査統計委員会

工業会会員企業アンケート回答率向上の為、さらに改善を進めて参ります。次の3点について調査致します。

1. 工業会会員企業の企業概要1年調査を実施致します。
2. 人材不足、長時間労働、働き方改革等、現状の問題点について検討して参ります。
3. 新型コロナウイルスでメンテナンス業界が受けた影響について

日本メンテナンス工業会では、会員企業にアンケートを取りコロナ禍に於ける定修等にどのような影響が出たかを検証し、会員と情報を共有したいと思っています。(但し、無記名アンケートとし、結果集計にも会社名は出さない)  
尚、調査内容について事務局、調査統計委員会にて検討する。

### 3-4. 広報活動委員会

工業会活動PRのため、次の3点の基本活動を行います。

#### 1. 会報内容の充実

- ・各委員会活動報告
- ・メンテナンスに関する技術や特集の掲載
- ・新たな特集記事の掲載
- ・表紙など会報の構成をリニューアル

#### 2. ホームページの更新

- ・ホームページから最新の情報発信（トピックス充実）
- ・イベント等の一部を動画でホームページに公開できないか検討する。

#### 3. プラントメンテナンスショーに出展する会員企業の取材など。

2021年度プラントメンテナンスショーは、大阪（7月）と東京（11月）の2回開催予定。

### 3-5. 教育研修委員会

メンテナンスの高度化、高付加価値化を目指すための研修会などの企画、学生へのPR活動などは今後も継続して行う必要がある。しかし、コロナによって、集まる活動が難しくなってきた。今後も従来の企画では開催が困難であり、新しいやり方を模索する必要がある。

#### 1. オンラインセミナーなど新しい企画の検討

#### 2. 学校関連の講座開設に伴う講義担当各社への支援およびフォロー。

ただし、オンライン講座などを踏まえたものとする。

- ・西日本工業大学の講座の進め方、講義担当各社への支援を行います。
- ・新居浜高専特別課程への工業会関与と講義担当各社への支援を行います。

### 3-6. 法令・規格委員会

プラントメンテナンス業の課題に関連する各省庁の審議会等の重要報告について継続調査します。また、スマート保安に関する規制緩和や働き方改革に関する諸課題について各委員会と連携し調査・検証を進めます。

### 3-7. 評価提案委員会

前年度に続き、次の2点について、人材の確保・育成へ向けた取り組みを行います。

#### 1. 「工業会表彰制度」の制度定着化

- ・制度の問題点の把握と対応策の検討

#### 2. 「人材確保のためのPR方法」の具体策として、プラントメンテナンス業界ガイドブック活用

- ・配布先及び配布方法の検討

### 3-8. 技術研究委員会

前年度に続き、スマート保安に寄与できるメンテナンス技術の情報収集をおこないます。また、官公庁のメンテナンスに関わる会合にも参加し情報を収集します。収集した有用な技術及び情報内容は工業会ホームページへ掲載していきます。

委員会で既に紹介された技術情報や今後の委員会で紹介される情報をWeb配信や会員会社向けの技術セミナーを実施して紹介していきます。その準備として、必要な環境設定、ソフト及びハードなど検討していきます。